

井内 康輝さん（広島県福山市出身）

JICA 草の根技術協力事業

案件名：塵肺症および石綿（アスベスト）曝露による呼吸器疾患の早期診断
能力の向上プロジェクト

実施団体：NPO 法人総合遠隔医療支援機構 実施国：モンゴル

2019年12月29日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

呼吸器疾患対策を支援

モンゴルは、中国とロシアの間に位置する。国土は日本の4倍の広さがあるにもかかわらず人口は約300万人で、うち半数の約150万人が首都ウランバートル市に住む。主要な産業は鉱山業で石炭や銅などを産出するが、加工せずに中国やロシアへ輸出するため国の財政状況は厳しい。

この国への医療支援を目的に、国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業「^{じんぱい}塵肺症および石綿（アスベスト）^{ばくろ}曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト」を2018年6月から3年間の計画で実施している。



キャプション：
呼吸器疾患への対策として研修を受ける医師たち

プロジェクト実施の背景として主に次の三つが挙げられる。鉱山業の労働者にはじん肺症やそれに合併する結核などの患者が多い▽寒冷地のため、断熱効果の大きい石綿の使用が続いており、これが原因で疾病の多発が予想される▽石炭を燃料とする火力発電所のばい煙（スモッグ）による呼吸器疾患の増加が危惧される一である。

呼吸器疾患の増加への対策として、ウランバートル市と広島市で研修を行ってきた。胸部のエックス線検査やコンピューター断層撮影（CT）検査を担う放射線科医と、患者から採取した組織で確定診断をする病理医を対象にしている。これまでに300人以上が受講した。

さらに、インターネットを使った遠隔診断システムも導入した。これにより、ウランバートル市内の住民だけでなく遠隔地の住民に対しても、診断のアドバイスといった日本からのサポートができるようになった。